

早期景気観測調査

【2-3 月期 調査結果概要報告書】

平成30年4月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成30年3月15日(木)～30日(金)
4. 調査対象： 当所会員140事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 102件
7. 有効回答率： 72.9%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【2-3月期の動き】

**全体業況は大幅な悪化。
業種別でも全業種で業況悪化。
向こう3カ月の業況は、改善の見通し。**

2-3月期の全業種総合の業況DIは、▲25.5（前期比▲13.5ポイント）と3期連続の悪化で大幅なマイナスとなった。売上DI、採算DIがともに悪化に転じている一方で、仕入単価DI、従業員DIはともに改善に転じたが、人手不足感が高まる形となった。金融貸出しDIについては、悪化に転じている。

向こう3カ月の先行き業況は、改善する見通し。

業種別では、全業種（製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業）で業況悪化となった。

製造業の業況DIは0.0（前期比▲9.1ポイント）と4期ぶりに悪化に転じた。売上DIが5期連続で改善、仕入単価DIが24.9ポイントの大幅な改善となった。その一方で、採算DIは4期ぶりに悪化に転じ、従業員DIについては、4期連続のポイント改善も人手不足感には拍車がかかっている。金融貸出しDIは、悪化に転じている。

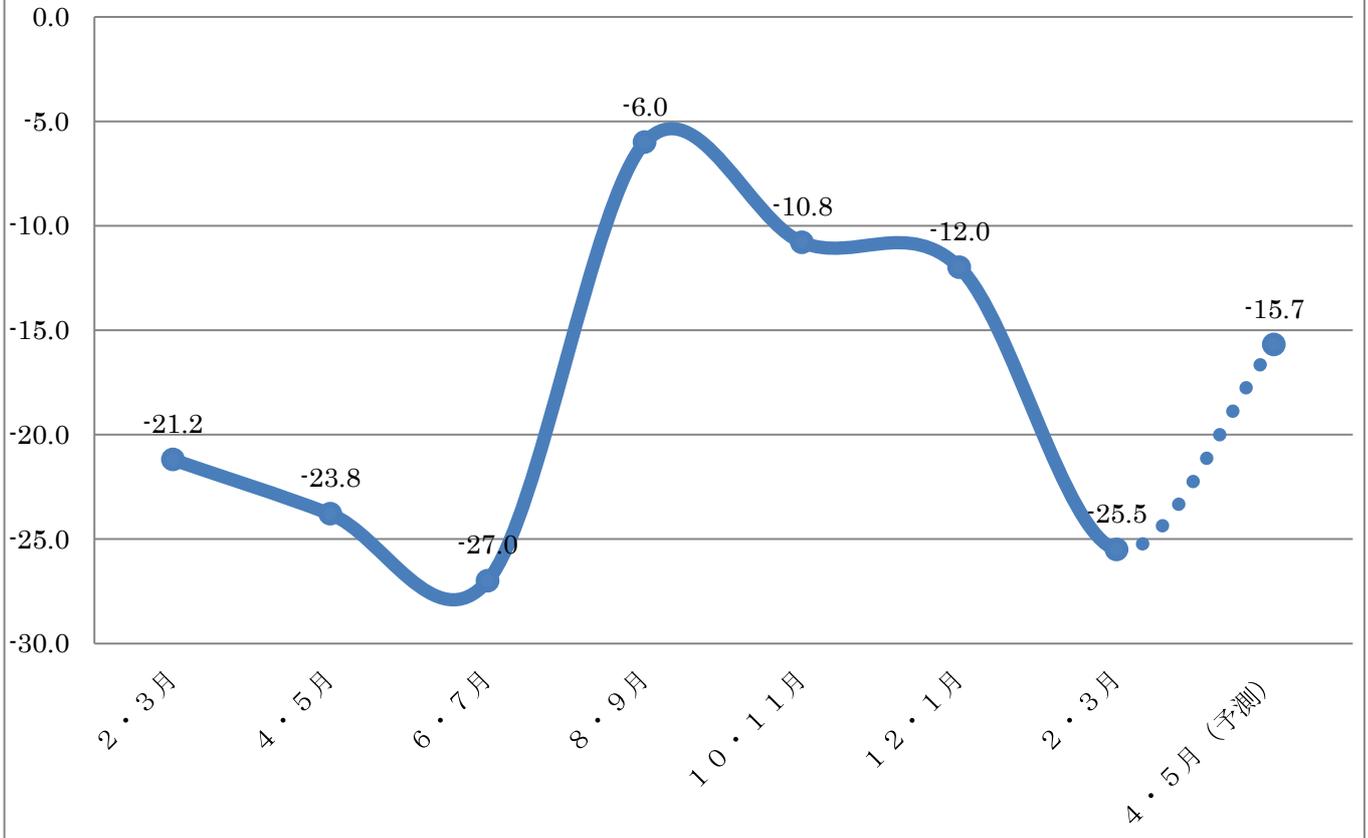
建設業の業況DIは▲36.8（前期比▲27.3ポイント）と5期ぶりに悪化し、大幅なマイナスとなった。売上DIが2期連続の悪化、採算DIが5期ぶりに悪化となり、それぞれ22.1ポイント、32.0ポイントの大幅なマイナスとなっている。仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDIについては、いずれも改善に転じている。

卸売業の業況DIは▲16.7（前期比▲16.7ポイント）と悪化に転じた。売上DIは横ばいであったが、採算DI、従業員DIはともに悪化となった。一方で、仕入単価DIは3期ぶりに改善し、22.3ポイントの大幅なプラスとなっている。金融貸出しDIは横ばいとなった。

小売業の業況DIは▲36.0（前期比▲5.6ポイント）と3期連続の悪化となった。売上DI、採算DI、仕入単価DIのいずれも3期ぶりに改善に転じた。一方で、従業員DIは3期連続、金融貸出しDIは2期連続の悪化となっている。

サービス業の業況DIは▲46.7（前期比▲15.4ポイント）と悪化に転じた。売上DI、採算DIとともに悪化に転じ、それぞれ27.9ポイント、35.4ポイントの大幅なマイナスとなった。仕入単価DIは4期ぶりに改善し、従業員DIも2期連続で改善するも、人手不足感が出ている。金融貸出しDIは小幅な悪化に転じている。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて（先行は今回実績値に比べて）		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」（改善）と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」（改善）と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲25.5	▲15.7	▲21.6	▲28.4	▲38.2	21.6	▲2.0

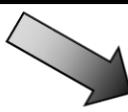
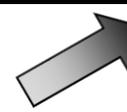
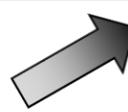
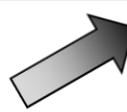
2-3月期の全業種総合の業況D I は、▲25.5（前期比▲13.5ポイント）と3期連続の悪化で大幅なマイナスとなった。

項目別では、売上D I（▲16.0→▲21.6）、採算D I（▲17.0→▲28.4）がともに悪化に転じている。一方で、仕入単価D I（▲52.0→▲38.2）、従業員D I（18.0→21.6）はともに改善に転じたが、人手不足感は高まる形となった。金融貸出しD I（0.0→▲2.0）については、悪化に転じている。

向こう3か月の先行き業況は、▲15.7と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

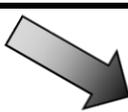
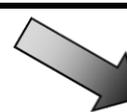
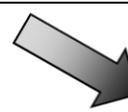
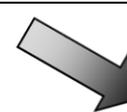
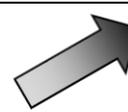
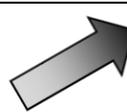
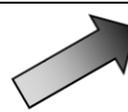
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0.0	8.0	8.0	▲4.0	▲16.0	28.0	▲4.0

業況DIは0.0（前期比▲9.1ポイント）と4期ぶりに悪化に転じた。

項目別では、売上DI（4.5→8.0）が5期連続で改善、仕入単価DI（▲40.9→▲16.0）が24.9ポイントの大幅な改善となった。その一方で、採算DI（4.5→▲4.0）は4期ぶりに悪化に転じ、従業員DI（18.2→28.0）については、4期連続のポイント改善も人手不足感には拍車がかかっている。金融貸出しDI（0.0→▲4.0）は、悪化に転じている。

向こう3か月の業況は、8.0と改善する見通し。

建設業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲36.8	▲42.1	▲31.6	▲36.8	▲47.4	21.1	5.3

業況DIは▲36.8（前期比▲27.3ポイント）と5期ぶりに悪化し、大幅なマイナスとなった。

項目別では、売上DI（▲9.5→▲31.6）が2期連続の悪化、採算DI（▲4.8→▲36.8）が5期ぶりに悪化となり、それぞれ22.1ポイント、32.0ポイントの大幅なマイナスとなっている。仕入単価DI（▲52.4→▲47.4）、従業員DI（19.0→21.1）、金融貸出しDI（4.8→5.3）については、いずれも改善に転じている。

向こう3か月の業況は、▲42.1と悪化する見通し。

卸売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲16.7	▲11.1	▲11.1	▲27.8	▲44.4	38.9	5.6

業況DIは▲16.7（前期比▲16.7ポイント）と悪化に転じた。

項目別では、売上DI（▲11.1）は、横ばいであったが、採算DI（▲16.7→▲27.8）、従業員DI（44.4→38.9）はともに悪化となった。一方で、仕入単価DI（▲66.7→▲44.4）は3期ぶりに改善し、22.3ポイントの大幅なプラスとなっている。金融貸出しDI（5.6）は横ばいとなった。

向こう3か月の業況は、▲11.1と改善する見通し。

小売業

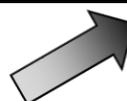
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲36.0	▲20.0	▲36.0	▲24.0	▲36.0	8.0	▲8.0

業況DIは▲36.0（前期比▲5.6ポイント）と3期連続の悪化となった。

項目別では、売上DI（▲43.5→▲36.0）、採算DI（▲39.1→▲24.0）、仕入単価DI（▲39.1→▲36.0）のいずれも3期ぶりに改善に転じた。一方で、従業員DI（8.7→8.0）は3期連続、金融貸出しDI（▲4.3→▲8.0）は2期連続の悪化となっている。

向こう3か月の業況は、▲20.0と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲46.7	▲20.0	▲46.7	▲66.7	▲60.0	13.3	▲6.7

業況DIは▲46.7（前期比▲15.4ポイント）と悪化に転じた。

項目別では、売上DI（▲18.8→▲46.7）、採算DI（▲31.3→▲66.7）ともに悪化に転じ、それぞれ27.9ポイント、35.4ポイントの大幅なマイナスとなった。仕入単価DI（▲68.8→▲60.0）は4期ぶりに改善し、従業員DI（0.0→13.3）も2期連続で改善するも、人手不足感が出ている。金融貸出しDI（▲6.3→▲6.7）は小幅な悪化に転じている。

向こう3か月の業況DIは、▲20.0と大幅に改善する見通し。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

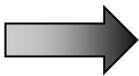
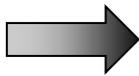
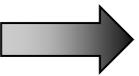
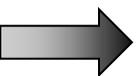
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・荷受け、問屋への日配品の落ち込みに加え、量販店やオンラインストアなどのギフトの不振があり、業況は悪化。仕入単価の下落からなんとか粗利益を昨年並みに維持できている状況。末端顧客であるホテル、料亭、外食産業の活況に期待。自社としては新商品提案での引き合い増加を目指す。

製造業（工業製品）

- ・①人材不足です。 ②仕事量やりきれない。
- ・民間設備投資の需要拡大及びインフラ整備、建築土木の需要拡大も見込む。
- ・2月の水晶業界は、中国の春節があったこともあり全体的に底となる。特に携帯電話用の産業用水晶発振器が落ちています。

製造業（ニット・アパレル）

- ・従業員が何名か産休に入っていて、去年より減っているため、生産量が昨年より減っています。

【建設業】

建設業（建築）

- ・メーカーの寡占が進み、お客様との間で板挟み。価格交渉が難しい。収益の問題が今後拡大する。
- ・民間事業の売上が堅調に推移しているが、公共事業は厳しい状況が続いている。雇用条件（資格等）にあった人材を求めため、人手不足は継続している。

建設業（土木）

- ・公共、民間の工事量が減少しております。災害なく、国からの予算も少なく、大型事業は大手企業に持っていかれます。人手不足もありますが、工事が少ないのでまあまあでしょう。技術を身に付けている職人が、年々少なくなっております。

建設業（鉄鋼）

- ・仕入原価変わらず、市況不変、新規採用不足。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・製造業関係（お客様）への売上が好調です。
- ・人員不足が著しく、営業に大きな影響を与えている。

【小売業】

小売業（趣味・日用品）

- いったん落ちてしまった客足はなかなか戻る気配がなく、寂しい街の感じが続いている。
- 依然厳しい状況が続いています。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- 去年の12月頃から、甲府・昇仙峡地区の観光客が前年より減少しているようです。
- 県内観光の閑散期であり、販売価格下落が多くみられる。
- 小規模旅館は、県外資本の大手ホテルに、施設、人材、資金その他で太刀打ちできず、インハウンドの関係も富士山周辺ホテルなどに景観の面からも劣り、宿泊客を増やすことの難しさを強く感じ、経営を続けていけるか悩んでいる仲間もいます。

サービス業（観光）

- 景気がいいとニュースでは聞いているが、周囲の状況からそんなふうには感じられない。

サービス業（飲食その他）

- 今年に入り、ウナギの稚魚シラスの極端な不漁との報道がされています。仕入値も上昇を続けています。「ウナギをいつまで食べることができるのか」という深刻な状況です。

以上